

# たきこみごはん

全国福祉保育労働組合  
東海地方本部 障害協議会NEWS  
2007. 1. 18  
Vol. 3

障害関係職場で働く組合員のみなさん。あけましておめでとうございます。

さて2006年は障害者自立支援法にふりまわされた1年でした。

利用者には応益負担。事業所には支援費の日割化・単価の引き下げ。私たち労働者には賃金、手当のカットに利用者・開所日の増加などによる労働の強化、条件の悪化などなど。。

しかしテレビや新聞のニュースが知らせるとおり、決して障害者分野だけの試練ではありません。

求人の折込みチラシでいちばん多いのは介護保険関連施設でのパートさん募集のようです。

医療関係の職員募集もあちこちに見られます。

夢を抱いて就職した資格をもった新人看護師さんでさえ1割の人が1年で離職していくそうです。

これらは何を意味するのでしょうか。

再チャレンジしたくても多くの人たちは派遣・請負で苦しめられています。

ワーキングプア・格差社会は単なる流行語などではなくあきらかな社会問題です。

背景にあるものをしっかり見きわめていく必要があります。

私たちが肝に銘じなければならないのは、あきらめないこと。絶望しないことだと思います。

福祉職場で管理職や職員がまとまって職場を去るという悲しい事態もうまれています。

どんなにたいへんでも職場にひとりぼっちで悩みを抱える人を放置しないこと

ぐちも怒りも思いきり吐き出せるようなゆとり、うるおいを決して忘れないこと

ねがいや束ね経営者の人たちとの共同をねばり強くすすめること

私たち労働組合に求められる課題はますます大きいです。

2007年を時代錯誤の「自衛軍」の保持をもちこむ憲法「改正」の準備が整った年と

子どもたちの教科書に書き込ませないために・・

自立支援法の見直しを選挙むけの「アメ」で終わらせないために・・

今年も元気に頑張りましょう。

障害協議会議長 石川 修

一編の詩をあなたに

太陽のほとり

石垣 りん

太陽  
天に掘られた 光の井戸。

昔ながらの  
つるべの音が 聞こえます

私たち  
宇宙の片隅で 輪になって  
たったひとつの 井戸を囲んで  
暮らします。

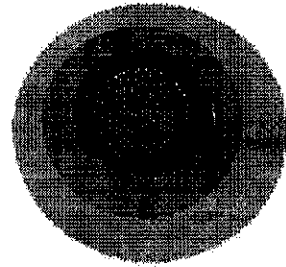
胸に手を当てて 聞きましょう  
生きている いのちの鼓動  
若水を汲み上げる その音を。

世界中 どこにても  
太陽のほとり。

新年の光  
満ち あふれる 朝です。

みんな いちにち まいにち  
汲み上げる  
深い空の底から  
長い歴史の奥から  
汲んでも 汲んでも 光  
天の井戸。

(日本の里には 元旦に 若水を汲む  
という 美しい言葉が ありました)



<編集後記>

最近小さな映画館で、「フラガール」という映画を観ました。炭鉱の町が舞台の映画になぜか惹かれます。少し古いですが「プラス!」や「リトルダンサー」も大好きです。映画館で好きな映画を楽しめるのも、平和だからこそですよね。最近あらためて思います。

まもなく愛知県知事選。平和を願う気持ちをこめて、一票を投じます。願いを持つこと。あきらめないこと。そんなふたつの硬い石ころを握りしめるような、新しい年のはじまりです。 k

みなさんの投稿をお待ちしています。

ご意見、ご感想もお気軽にお寄せください!

E-mail takikomigochan06@yahoo.co.jp